QScan V3.6.x　リリースノート

2020年 3月 更新

本リリースノートでは、QScan V3.6.x リリースの以下の内容についてご案内いたします。

QScan V3.6.1 (2020.02) 1
QScan V3.6.0 (2019.11) 3

QScan V3.6.1 (2020.02)

本バージョンは主にバグフィックスリリースですが、いくつかの小規模な改善項目も含まれます。
3.6.0 以前のバージョンで見つかった問題がいくつか解決されており、アップデートをお勧めします。

本リリースで修正された問題

- 比較分析において、長いファイルで比較タイムラインビューとサムネイルが表示されない
- 個別のファイルのオーディオタイムラインビューにおいて、イベントのグラフが正しく表示されない。イベントグラフを最初のオーディオチャンネルのオーディオレベルグラフとして表示する
- シングルパスの分析の閾値の評価がある状況において正しく動作しない
- PDF レポートでイベントとサムネイルが重なって表示される
- 比較分析がオーディオのみのファイルに対して正しく機能しない
- フォーマットチェックが閾値として追加された場合に DVCPro ファイルが正しく検出されない
- 一部のプロジェクト/テンプレート名に表示されるラベルのうち、ユーザーに表示されるべきではないものが表示される
- プロジェクトに変更がない場合でも、シングルパス分析の再評価が機能する問題。プロジェクト設定に変更がなくてもイベントが再評価されるため、望ましくない影響がありました。
- バージョン 3.6.0 にアップグレード後、一部の組み込みテンプレートが更新されない
- ドルビービジョンのショットが、詳細タイムラインビューで正しくレンダリングされない
- True Peak 測定とグラフィック表示の修正。間違った値がレポートされ、音声レベルと矛盾していました。

- ラウドネス分析で部分的な分析が正しく機能しない問題。ラウドネスオフセットボックスが空の場合でも、分析にオフセットが追加されていました。
- ファイルを再分析すると、ストリーム構文エラーとしてレポートされる量が異なる

本リリースで追加された機能

- ユーザーが誤ってボタンをクリックしないように、ライセンスの「非アクティブ化」セクション赤い警告メッセージを表示
- 「テンプレートの追加」メニューにおいて、新しいテンプレートを作成するためにテンプレートの結合が可能に。テンプレートの結合は、以前のバージョンではプロジェクト内でのみ使用できましたが、このバージョンでは既存のテンプレートを組み合わせて新しいテンプレートを作成することが可能になり、時間を節約できます。
- PDF レポートの各イベントに ID が追加（顧客のリクエストによる）
- API レベルでの新しいログ

QScan V3.6.0 (2019.11)

本リリースでは、以下の新機能が追加されています。

比較分析

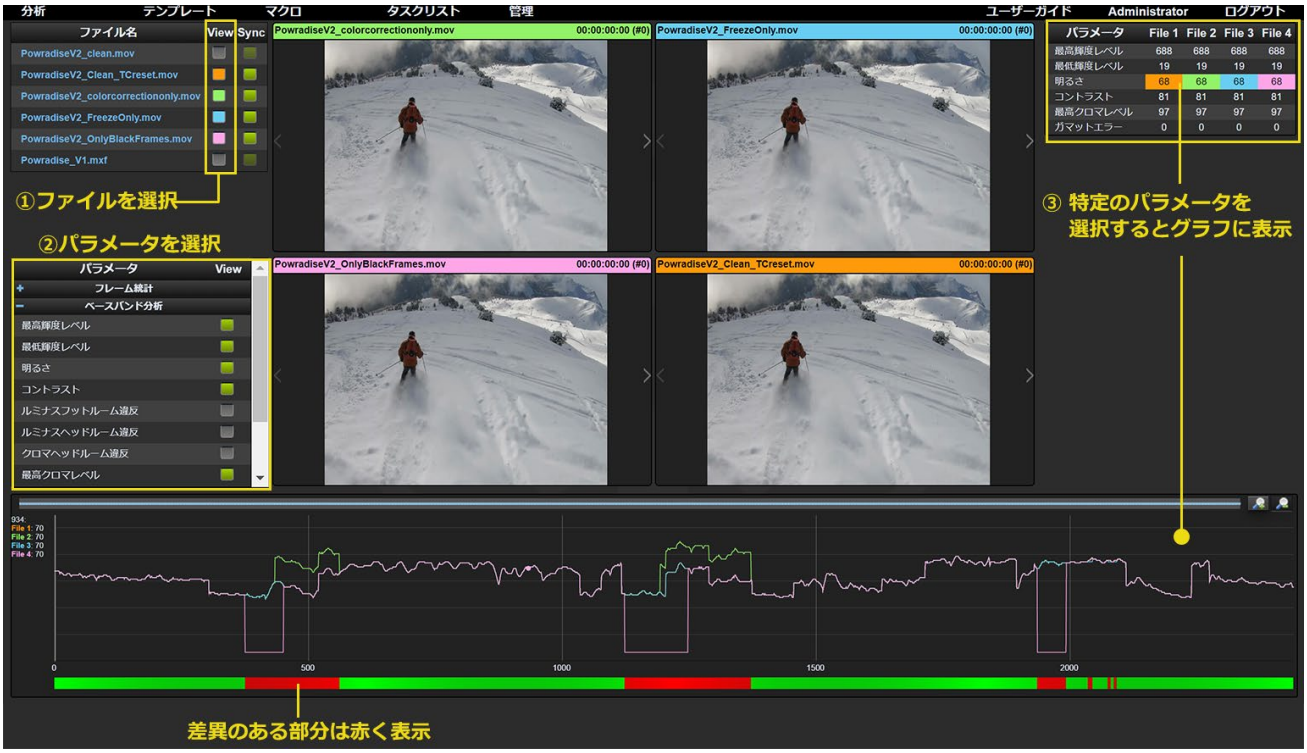
分析済みの複数のファイルを比較して、違いを確認することが可能です。比較対象のファイルは同じプロジェクトにある必要があります。この比較分析では、2 つの新しいツールが使用できます。グローバルタイムラインビューと比較詳細ビューです。
比較分析を行うには、以下の操作を行います。

1. プロジェクト内で比較したいファイルを選択し、右上にある「比較分析を開始」ボタンを押します。比較分析が開始されます。分析にはしばらく時間がかかります。

2. 比較分析が終了すると以下のボタンが表示されます。ここから比較表示にアクセスできます。

3. グローバルタイムラインビュー： 2 つのファイルの全体的な違いを確認したり、個別のビデオまたはオーディオパラメータの違いを確認できます。2 つのファイルの差異はタイムラインビューに表示されます。赤い部分は、大小に関わらず差異が存在することを表します。タイムラインにカーソルを合わせると差異の程度を確認できます。個別のパラメータの差異を比較するには、まず右のボタンでビデオまたはオーディオを選択し、それから左下のリストから比較したいパラメータを選択してください。

4. 比較詳細ビュー：最大 4 つのファイルの違いを視覚的に確認できます。 各パラメータをタイムライングラフで表示することにより、4 ファイルのパラメータの増減をグラフに表示して、ファイル間の差異を確認できます。特定のフレームにジャンプすると、同期した状態で 4 ファイルを同時に表示することが可能なため、知覚的なパラメータの確認にも役立ちます。



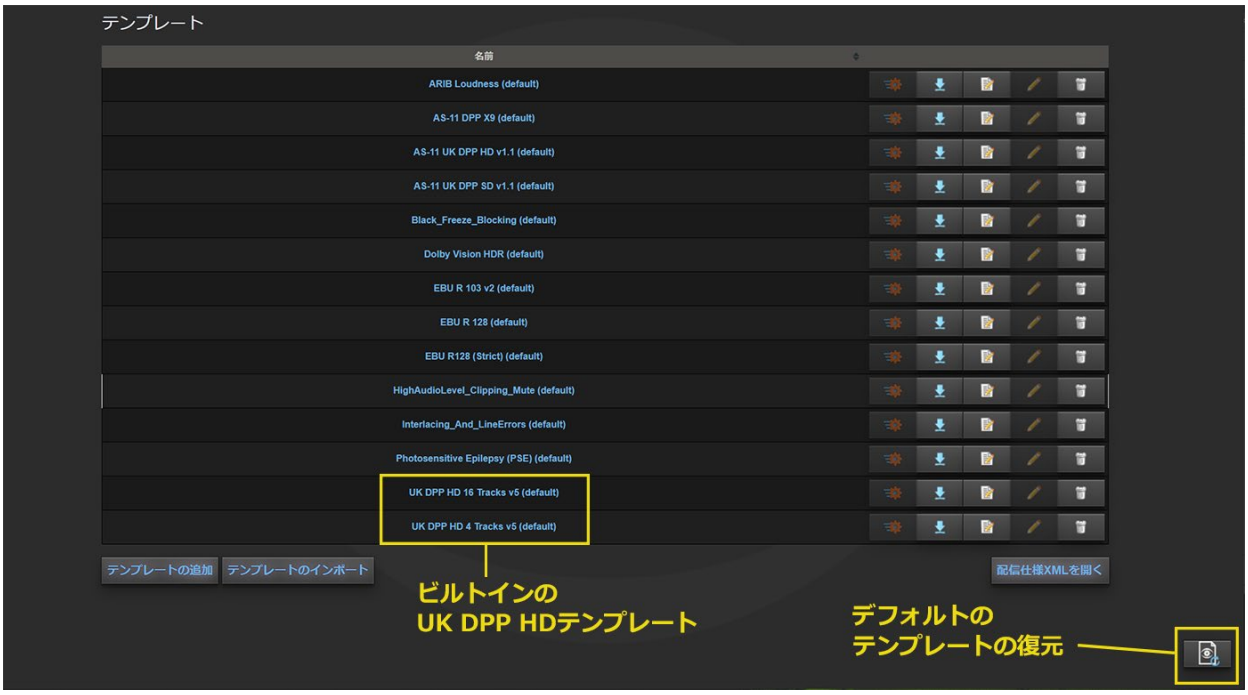
新しい HDR チェック

メディアで使用されている HDR 形式を確認できるようになりました。可能なオプションは、HDR10、Dolby Vision、HDR10+、HLG です。このため、新しいパラメータオプションが追加されています。また、MaxFall および MaxCLL の値を、しきい値の設定によってイベントのトリガーにすることが可能になりました。

英国 DPP HD 向けの新しいビルトインテンプレート

2 つの新しい組み込みテンプレートが追加されました。新しいテンプレートは、英国の DPP HD 仕様に準拠するように構築されています。

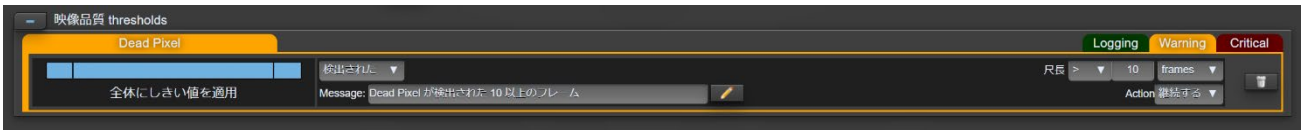
注）以前のバージョンからアップグレードする場合、テンプレートは右下の「デフォルトのテンプレートを復元」ボタンをクリックした場合にのみ追加されます。

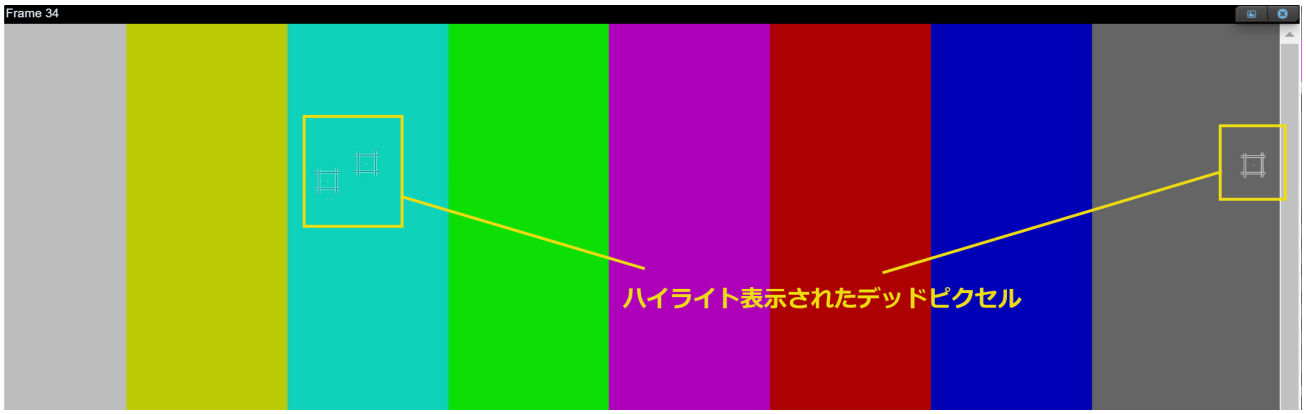


デッドピクセル（Dead Pixel）アルゴリズムの拡張

デッドピクセル検出が改良されました。画像内のすべての潜在的なデッドピクセルにスコアが付与されます。連続するフレームでデッドピクセルが繰り返されると、フレーム数に応じてこのスコアが上昇します。ユーザーは、しきい値でデッドピクセルの尺長（=スコア）を設定します。設定された閾値（=スコア）に応じて、イベント内のデッドピクセルがフレーム中でハイライト表示されます。このデッドピクセルのアルゴリズムの改良により、以前のバージョンでは検出できなかったケースにおいてもデッドピクセルが検出されることが期待されます。
連続するフレームで同じ位置に存在し続けるデッドピクセルを識別することで、収録に使用されたカメラの不良を突き止めるなど、将来的な拡張機能が考えられます。

注）デッドピクセルは分析処理中にのみマークされます。分析後にしきい値設定を変更した場合、新しいイベントにマーカーは表示されません。

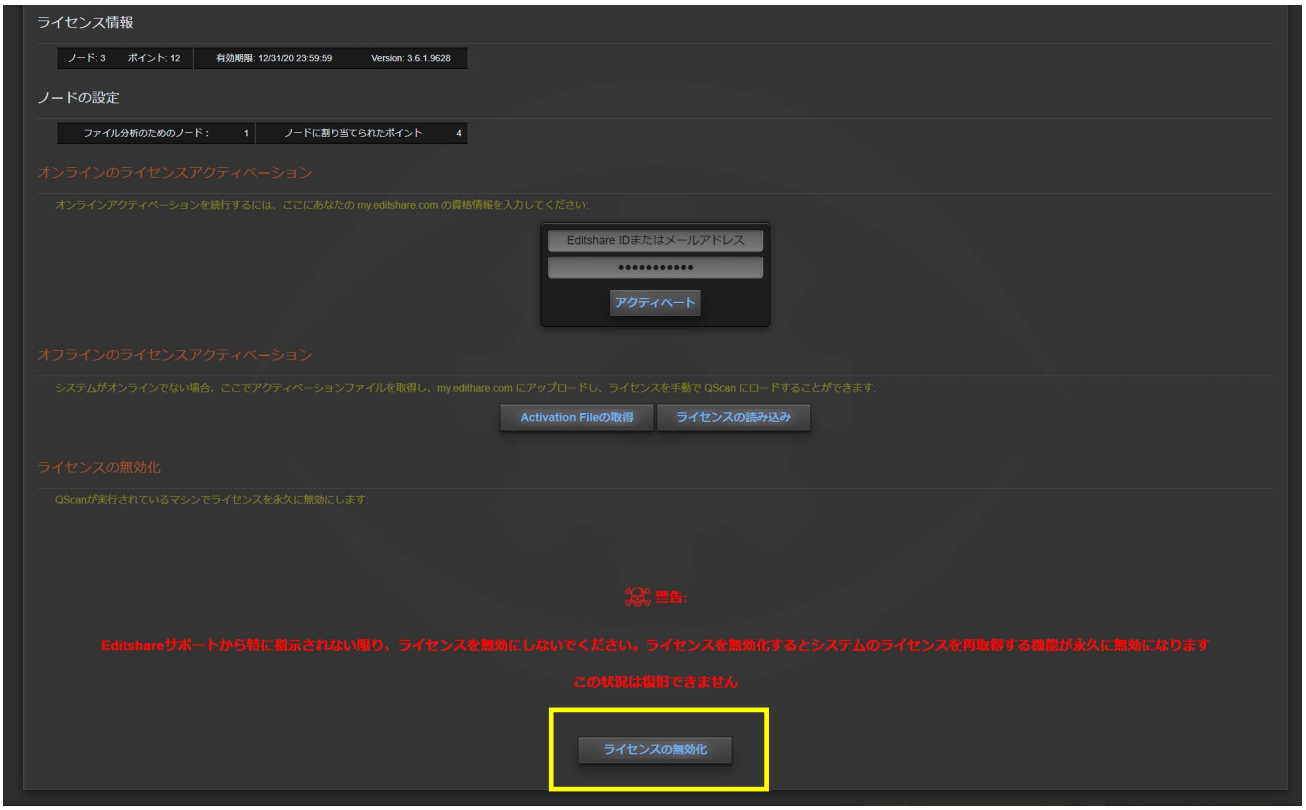




ライセンスの無効化

QScanのマシン上でライセンスの無効化が可能になりました。これは、ユーザーがライセンスを別のマシンへ渡す必要がある場合に使用されます。ユーザーはまずライセンスを無効化し、それから「ライセンス無効化ファイル（Deactivation File）」（マシンにライセンスを与えるのに使用したアクティベーションファイルに似たもの）を、VGIを通してメーカーであるEditShare社に送ります。

注）マシン上でライセンスを無効化すると、そのマシンは新たなアクティベーションが禁止されます。サポートより指示があった場合にのみ使用してください。



注）上記スクリーンショットはV3.6.1。警告表示が追加されています。

ビジュアル・グラフィックス株式会社
〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 3-1-7 タマビル恵比寿 2 階
TEL: 03-6277-1891
E-mail: qscan@vgi.co.jp